診断なら　2019 年夏号

－　目 次　－

◆ ご挨拶 …… 1
◆ 平成 31 年「新春互礼会」報告 …… 2~3
◆ 奈良県中小企業診断士会第 8 回定期総会報告 …… 4~5
◆ 2018 年度理事担当職務紹介 …… 6~7
◆ 活動報告
　奈良県立図書情報館「体験学習会＆無料経営相談会」実施報告 …… 8~10
　奈良工業高等専門学校との連携事業 …… 11
　次世代育成塾だより …… 12
　企業診断ニュース別冊 9 に研究活動が掲載 …… 13
◆ トピックス
　第 31 回診友会開催報告 …… 14
◆ 各研究会活動状況 …… 15~16
◆ 新入会員自己紹介コーナー …… 17~19
◆ 奈良県診断士会行事開催予定 …… 20
◆ 編集後記 …… 20

ご挨拶

奈良県中小企業診断士会
副会長　堀越　一郎

梅雨のあいだは涼しい日々が続きましたが、梅雨明けとともに蝉の声が降り注ぐいつもの夏がやってまいりました。奈良県中小企業診断士会の会員におかれましては、夏の暑さをものともせずにクライアント企業の経営改善サポートに取り組んでおられることと存じます。

さて、安倍政権下による長期間の景気拡大傾向が続いているものの、県下の中小企業においてはその景気拡大の恩恵を受けているという実感は、なかなか実感として現れてきておりません。企業倒産の傾向は低水準で推移していますが、平成２１年１２月の金融円滑化法の施行以降、金融機関の中小企業支援基調が手厚くなり、借入金の返済猶予が継続して実施されてきたための効果が大きいと思われます。もちろん、金融機関が経営支援部門を設置し取引先の経営改善支援への取り組みを強化するなど、貸し手側の努力も効果を上げています。私の勤務する信用金庫では、外形的には経営状態が苦しく融資対象には難しい企業であっても、診断士や税理士また不動産鑑定士といった外部専門家によるその企業の事業実態評価と将来性の判定内容を、融資判断のベースにする事案が出てきつつあり、金融機関が外部専門家と協働で経営改善支援に取り組む例が多くなってきています。

しかし、ここにきて返済猶予による財務支援からの出口を模索する企業も増えてきています。加えて円滑化法施行から １０年が過ぎ、経営者の高齢化とともに承継の問題が大きな経営上の課題になってきています。事業承継支援については、奈良県事業引き継ぎ支援センター、奈良県事業承継ネットワークやよろず相談窓口および各地の商工会議所･商工会等において様々な支援施策が講じられているところです。しかし、事業承継の相談には企業と相談窓口の厚い信頼関係が必須であり、核心に触れた相談内容にはなかなか入り込むのが難しいものです。そのため、我々診断士が円滑に事業承継相談が進むよう、クライアントの信頼感をベースにその潤滑油となって仲介役およびアドバイザーとして取り組むことが重要となるでしょう。

今秋にはラグビーワールドカップが開催され、来年の東京オリンピックまで１年を切りました。オリンピックの閉幕後は景気がスローダウンする可能性が高く、また足下では米中の貿易摩擦と日本の輸出規制をめぐる日韓の対立等、不安定要素が目白押しの状態です。このような状況下だからこそ、中小企業は的確なアドバイスを求めていますし、数年前と比較すると外部専門家の助言への理解度も格段に上昇しています。

奈良県中小企業診断士会としても、こうした状況を踏まえ、会員の皆様が県下中小企業のサポートに積極的に取り組めるよう、様々な施策を実行していきたいと思います。ぜひ積極的な参画をお願いいたします。

平成 31 年「新春互礼会」

開催報告

理事　　原田　高峰

平成 31 年２月８日（金)、午後５時半より奈良市高畑町にあるホテル「飛鳥荘」にて一般社団法人奈良県中小企業診断士会恒例の「新春互礼会」を開催いたしました。本年の参加者数は来賓の方６名と士会会員が１０４名中４８名の参加をしていただき総勢５４名の大盛会となりました。会場であるホテル「飛鳥荘」２階の「白鳳の間」を埋め尽くす盛会となりました。来賓は公益財団法人奈良県地域産業振興センター理事長の奥田喜則氏、奈良県中小企業団体中央会専務理事の土井敏多氏、奈良県信用保証協会常務理事の近藤朗氏、日本政策金融公庫奈良支店の杉本融資第二課長、大阪府中小企業診断協会の理事で総務委員会委員長福嶋康徳氏、奈良新聞社の久後記者が参加していただきました。森会長の開会の挨拶の後、調査研究事業の「奈良の魅力あるゲストハウス・民泊とは」の調査研究成果を上野会員が発表をしていただき、そのあとの懇親会の冒頭で地域産業振興センター奥田理事長並びに中央会の土井専務理事に来賓祝辞をしていただいきました。その後、奈良県信用保証協会の近藤常務理事の乾杯のご発声で和やかにうたげの宴に移り来賓と会員及び会員相互の懇親を深めていただきました。さらに懇親会の中ごろには新入会員７名の自己紹介と当診断士会の佐伯理事の司会でビンゴゲームを実施いたしました。全員に当たるように用意した多くの景品をビンゴした人から順番に１点ずつ持ち帰ってもらうのですがリーチになりながらなかなかビンゴ出来ずに立ち上がって今か今かと多くの人が歓声をあげる楽しい宴となりました。宴たけなわの中、中締めを大阪協会の福嶋総務委員会委員長にしていただき約２時間半の「互礼会」を和やかな中無事終了いたしました。また翌日の奈良新聞に互礼会の様子を大きく掲載していただきよき PR になりました。今年の来賓のお言葉の大半は「事業承継」がキーワードでした。互礼会は例年前年の１０月から日時・予算の決定、会場の確保、来賓・会員への案内などの準備を始めて１月下旬か２月上旬の開催となります。年々会員の参加が増えて担当理事としてもやりがいがあります。来年も多くの方のご参加を期待しています

奈良県中小企業診断士会新春互礼会

奈良県中小企業診断士会
第８回定期総会報告

理事　原田　高峰

令和最初の定時総会となった第８回定時総会は令和元年６月７日（金）にホテルフジタ奈良のガーデンルームで開催致しました。奈良の６月は修学旅行の最中で会場確保が難しい中、ホテルフジタ様の特別の配慮で今年も無事会場が確保できました。当日のご来賓は公益財団法人奈良県地域産業振興センター理事長奥田様、事業推進課課長杉山様、奈良県産業・雇用振興部奈良県産業振興総合センター所長前野様、奈良県中小企業団体中央会専務理事土井様、奈良県信用保証協会常勤理事船戸様、日本政策金融公庫奈良支店支店長篠田様、同中小企業事業統括盛原様、大阪府中小企業診断協会副理事長横山様及び奈良新聞岡崎記者、計９名に参加いただき、当会員参加人数は４９名（懇親会４７名）合計５８名の参加者で盛大に執り行われました。

総会開催にあたり、森会長が奈良県の中小企業の事業承継・再生支援並びに活性化のために当会および中小企業診断士の役割がますます重要になってきていること、そして会の運営をできるだけオープンにしていきたいとの挨拶がありました。また、来賓代表挨拶で奈良県産業振興総合センター前野所長様から、奈良県の現状、奈良県で実施する中小企業支援の施策内容の説明等のお話をいただきました。

次に議案書の審議に入りました。第一号議案は平成３０年度事業実施報告及び収支決算承認の件については森会長、渡辺事務局長より、会務運営内容、受託事業、主催事業、会員向け研修事業、調査研究事業等の説明がありました。平成３０年度実施した奈良県信用保証協会「なら専門家派遣サポート」大和高田商工会議所「専門家派遣事業」、「大和高田創業塾２０１８」の企画・講師派遣、大和高田商工会議所「くらし産業メッセ２０１８」開催支援、奈良中央信用金庫「ちゅうしん地域中小企業助成金制度」の審査事業等を渡辺事務局長が熱く語られました。以上の内容及び収支決算は全会一致で承認されました。第二号議案は令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件の審議に入りました。森会長より、11 月 4 日の「中小企業診断士の日」の制定並びに知名度向上活動として「ならどっと FM」におけるトーク番組を今年も継続することや政府の中小企業支援は「事業承継」と「生産性向上」が本丸になっており、「生産性向上」については「働き方改革」と「企業収益確保」に対する支援、事

業承継専門知識の向上策、会務運営については会員数が３０年度１００名を超え 47 都道府県中 15 位程度の規模の会員数の会となり今年度はさらに増えることが予想されるので柔軟で前向きな会務運営に励みたいなどについての説明がありました。そして、事業計画案と収支予算案についても、全会一致で承認されました。
以上をもって総会は閉会しました。

　その後懇親会は、3 名の 20 年間登録の永年表彰がなされた後、来賓代表の奥田理事長並びに船戸常勤理事のご挨拶に続き篠田支店長に乾杯の音頭をとっていただき、和やかに開催されました。宴の中頃新入会員 7 名の紹介を実施するなどしながら新入会員を含め、参加会員全員が積極的に情報交換を行ないました。最後の挨拶で、横山副理事長から、奈良県診断士会の総会参加率の高さ、メディア対策のうまさ、和やかな情報交換会の雰囲気についてのお褒めの言葉をいただき、懇親会を締めていただきました。

2019年度理事担当職務紹介

１．役割分担

部　門	内　容	担当理事	備　　考
総務担当	事務局	渡辺武久	
	経理処理	渡辺武久	
	組織管理	渡辺武久	
	関係組織管理	渡辺武久	
	会員管理	渡辺武久	
	新バッジ管理	渡辺武久	
	メーリングリスト	渡辺淳	士会、理事会
	小規模企業共済とりまとめ	米田	
	診断士賠償保険とりまとめ	米田	
会員担当	総会	原田	
	新年互礼会	原田	
	診断士キャリア情報管理	米田	
広報担当	ＨＰ	渡辺淳	
	パンフレット	米田	
	会報誌	米田	
	企業診断ニュース	米田	
	診断士の日	保延	
研修担当	理論政策更新研修	岸	
	実務従事研修	保延	
	プロコン育成塾	森	
	スキルアップ研修	森	
受託事業担当	再生支援協議会評議員	森	会長職への依頼のため、森が担当
	信用保証協会評議員	森	
	ちゅうしんグッドサポート	森	
	南都銀行　セミナー等	本田	
	信用保証協会専門家派遣	渡辺淳	
	創業支援ネットワーク	渡辺淳	
	事業承継ネットワーク	岸	
	香芝市・三宅町創業支援	森	
	奈良県農業会議	森	
	奈良県福祉医療部	森	
	日本政策金融公庫研修会等	佐伯	共催研修会が中心

	ＴＫＣ全国会南近畿会奈良支部窓口	佐伯	
	奈良工業専門学校提携	佐伯	
	日本弁理士会共催事業	本田	
	奈良商工会議所セミナー等	本田	
	橿原商工会議所セミナー等	本田	
	大和高田商工会議所セミナー等	岸	
	生駒商工会議所セミナー等	岸	
	設備資金貸付審査協力	原田	緊急時以外は役割なし
	奈良県制度融資審査協力	渡辺淳	
	中企連	渡辺武久	ハロー原稿
	次世代経営者育成塾	原田	推進リーダーは竹下会員
研究会・自主事業	調査研究事業管理	佐伯	
	研究会管理	佐伯	

２．組織体制

【顧　問】　西野 宗治　【会　長】　森 昭彦　【副会長】　堀越 一郎、渡辺 淳

【理　事】　渡辺 武久（事務局長）、原田 高峰、佐伯 眞、岸 克行、本田 秀継、
保延 薦、米田 良夫、

【監　事】　坂本 昌弘、田中 俊男

活動報告

奈良県図書情報館
「体験学習会＆無料経営相談会」
実施報告

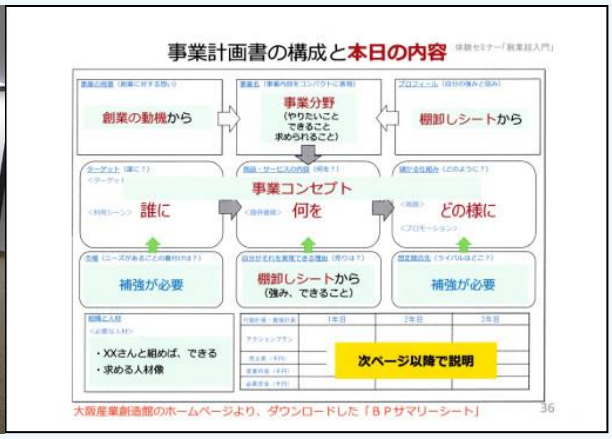
会員　深谷　繁

前回（2019 年新春号）までの「診断なら」でご報告をいたしました通り、企業内診断士研究会では、2013 年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会＆無料経営相談会」を行っています。

初年度の 2013 年度は 3 回（3 日）、2014 年度は 2 回（2 日）、2015 年度から 2018 年度までは各 6 回（6 日）実施しました。今年度（2019 年度）も 6 回（6 日）実施予定で、このうち 2018 年度の第 5 回目までは前号でご報告をいたしました。各日、経営相談会は午前 10 時 30 分から午後 4 時まで、体験学習会は午後 1 時から 4 時まで実施しています。

2018 年度の第 6 回目は 1 月 13 日（日）に行いました。体験学習会は 6 名の方が受講に来られました。この日は、香川登志雄氏が『創業超入門』の題目で説明しました。受講者の皆様には、体験（個人ワーク、グループワーク）を通じて、創業に至る大まかな流れと、検討・準備すべき内容を理解して頂きました。

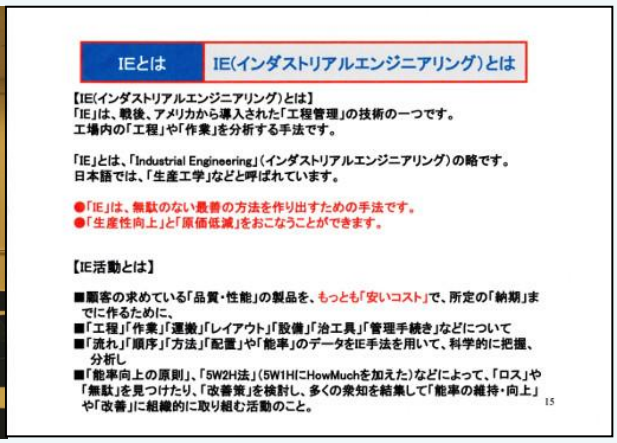
この日、経営相談会にはどなたもお越しになりませんでした。



今年度の第 1 回目は 5 月 12 日（日）に行いました。体験学習会は 6 名の方が受講に来られました。この日は、谷村幸治氏が『「IE の基礎知識を学ぼう」 ～IE（インダストリアル・エンジニアリング）とは、経営管理の問題解決に必要なエンジニアリングアプローチです～』の題目で実施しました。前半は、世の中もものづくりの歴史と幼少期からの谷村氏の

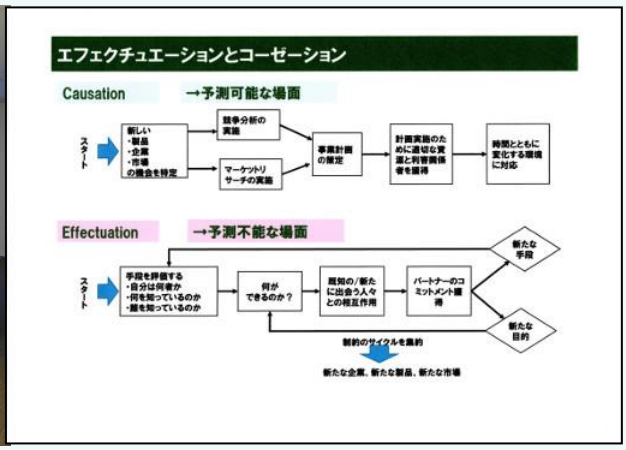
ものづくりの経験を並走させて振り返りました。後半は、IE（インダストリアル・エンジニアリング）の概要を述べたのち、工程分析、時間研究、動作分析などの代表的なＩＥ手法を解説しました。

この日、経営相談会には３組（３名）の方がお越しになり、創業や販路開拓に関する相談を受けました。



第２回目は６月９日（日）に行いました。体験学習会は９名の方が受講に来られました。この日は、上野浩二氏が『はじめてのエフェクチュエーション理論実践～人生を豊かにする起業とは何か』の題目で実施しました。エフェクチュエーションの概論を説明したのち、NARA 観光大使を題材にビジネスモデルキャンバスを使いながらグループ演習を行って理解を深め、エフェクチュエーションの考え方（まず行動、世界観、共創）を復習して締めくくりました。

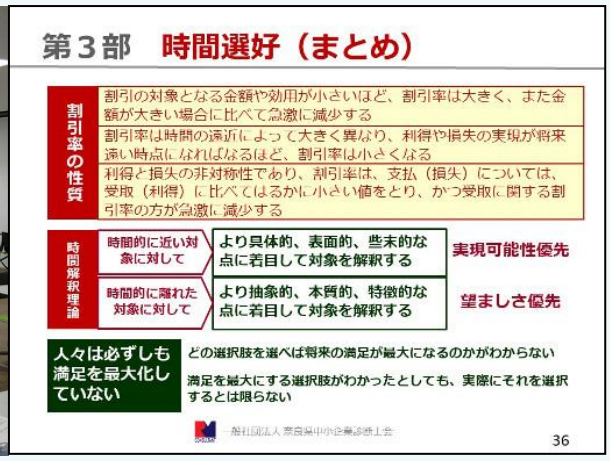
この日、経営相談会には１組（１名）の方がお越しになり、創業に関する相談を受けました。



第３回目は７月 14 日（日）に行いました。体験学習会は９名の方が受講に来られました。この日は、深谷繁が『「行動経済学入門１　ヒューリスティックスと時間選好編」～行動経済学とは、人は実際にどのように行動するのか、なぜそうするのか、その結果として何が

生じるのかをテーマとする経済学です～』の題目で実施しました。最近注目を集めつつある行動経済学の概要を説明したのち、ヒューリスティックス（近道思考をしがちな人間の思考の癖）と近視眼的になりがちな時間選好について、個人演習やグループ演習も交えながら受講者の皆様に理解して頂きました。

この日、経営相談会には１組（1 名）の方がお越しになり、創業に関する相談を受けました。



上記の 4 回には、企業内診断士研究会のメンバーである泉谷陽一氏、上野浩二氏、香川登志雄氏、谷村幸治氏、長雅規氏、永山信男氏、水越義則氏、芳林由美子氏と深谷繁の 9 名が従事しました。

今年度は、第 4 回目 11 月 10 日、第 5 回目 12 月 8 日、第 6 回目 1 月 12 日のいずれも第 2 日曜日を予定しています。詳細が決まりましたら、図書情報館様のホームページやチラシなどによる広報手段や、奈良県中小企業診断士会のホームページなどでお知らせをする予定です。

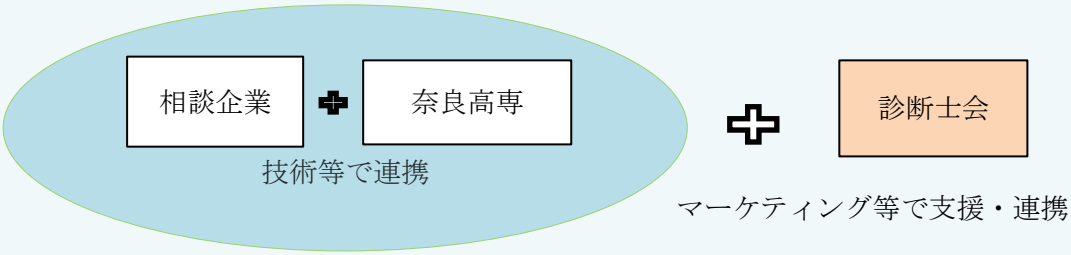
以上

奈良工業高等専門学校との連携事業

会員　竹下富彦

○　連携事業の経緯

平成 29 年の調査・研究事業を進めるにあたって、奈良高専様には訪問企業を紹介していただくなど、大変お世話になりました。できあがった報告書をお持ちしお話ししている中で、「企業と高専様は技術面で連携を組まれているが、販売などのマーケティング面では課題もあるのでは。診断士はこの分野に強く、ご協力できる可能性がある」と投げかけたところ、強い関心をもっていただきました。その後協議を経て連携の協定を結ぶことになり、昨年の 7 月に調印を行いました。



○　連携事業

調印が済んだ翌々月の 9 月に、奈良高専様が運営されている産学連携のコンソーシアム（66 の企業と 7 つの公的機関が参加）の総会にオブザーバーとして出席。診断士として支援できることをアピールしたところ、某社から補助金申請のためのサポート依頼がありました。新分野進出のための装置・器具の導入です。支援の結果、「経営革新計画」と「ものづくり補助金」が採択になりました。

今後も奈良高専様からの依頼が予想されるため、その受け皿となる「産学等連携研究会」を 8 名によって立ち上げましたが、それと並行するように新たな案件が入りました。連携を強化するために、地域イノベーションコンソーシアムに入会することにしています。

○　地元のために

奈良高専様は地元奈良では皆様がご存じで親しみを持たれています。企業も相談がしやすいという大きな利点があります。診断士が、企業（産）、奈良高専（学）、公的機関（官）及び金融機関（金）の連携のコーディネーター・推進役として積極的に支援することが、地元奈良に貢献するという希望を抱きつつ、地道に歩んでいくつもりです。　　― 以上 ―

次世代経営者育成研究会だより

会員　竹下富彦

○　研究会の活動

現在、会として 2 つの活動を行っています。ひとつは、セミナー・研修の実施です。会の名称にもありますように、若手経営者及び後継者を対象にした円滑な事業承継対策、及び日々の仕事、経営に役立つ知識・情報の提供です。実績としては、平成 29 年は吉野三町村、30 年には奈良中央信用金庫、そして今期は奈良商工会議所青年部にての開催が決まっています。

もうひとつの活動は、産経新聞朝刊奈良版のコラム「経営と暮らしの羅針盤」の執筆です。診断士の存在と活動を知っていただくこと、そして購読者の方々の経営や暮らしに役立つ知識・情報の提供等です。昨年の 10 月からスタートし、月 2 回のペースで連載されています。先日は、士会のメルマガにて会員の皆様からの原稿募集を依頼しました。今回、3 名の方から応募がありました。

少しずつですが、セミナーの実施、コラム執筆と実績を積んでいます。

○　リニューアル

上記 2 つの活動を行いつつ会のリニューアルを考えています。ひとつは会の名称です。次世代経営者育成研究会と長いため憶えにくく、また固い印象を与えるようです。もう少しシンプルでしゃれた名称がいいかなと思っています。これと関連して、会のコンセプトの見直しもあります。若手経営者・後継者の育成という発足当初のコンセプトは継続しつつ、事業化に結びつく営業活動、及び診断士としての資質向上の研鑽などを、メンバーの皆様と話し合っていく予定です。

○　メンバーの募集

7 月、新しく長 雅規様が入会されました。少人数でぼちぼちやっている会です、ご関心があれば気軽に見学に来てください。竹下まで連絡いただければ、開催日等をお知らせします。

E-mail: to-takesita@nifty.com
携帯：080－5312－7841

企業診断ニュース別冊９に奈良県の研究活動が掲載されました。

調査研究活動で新しいアプローチ手法「エフェクチュエーション理論」に挑戦しました

◆エフェクチュエーション理論の行動実践を通して

「どこからどうアプローチしてよいか」が不明確な調査研究テーマについて、新しいアプローチ手法として注目されている「エフェクチュエーション理論」の適用に挑戦しました。エフェクチュエーション理論とは、米ヴァージニア大学のサラス・サラスバシー教授により提唱され、体系化された起業家の思考様式です。従来の経営学の多くが、「コーゼーション」すなわち「まず求める目的（結果）」からスタートし、「これを達成するにはなのをすればいいか」を考え、予測して進めていく方法でした。これに対しこの理論は、まず「手段」からスタートし、「これらの手段を使って何ができるか」を問い、結果をデザインしていく方法です。これは、優れた起業家には経験的に共通した思考プロセスであり、これを体系化できたことで理論の再現性が担保され、企業活動の多くの分野で画期的なアプローチが期待できます。今回は、この新しい理論の適用により、変化の著しい「民泊」分野について調査研究に挑戦し、大きな成果をあげることができました。この手法の普及が、診断士のプロコン活動にも大きなインパクトとなることを確信しています。

◆日本の原風景「奈良・御所」の魅力を支える民泊とは

奈良県の観光は、北部の奈良市に観光客が集中し、南部まで足を延ばす人は少ないのが現状です。宿泊客は全県で低調、南部ではより深刻です。宿泊人数拡大の打開策として「民泊」が注目されています。しかし、かけ声のわりにまだまだ普及していません。民泊の阻害要因として、まず家主の立場では、手続きの煩雑さ、立ち上げ資金不足、運営ノウハウ不足など、宿泊客側では、旅先の選択にあたっての情報不足、行政としては、周辺の風紀の乱れ、伝統的な街並みの維持などがあげられます。これら、それぞれの立場における阻害要因を解消し、Win-Win-Win の事業モデルがいかにしたらできるかを模索するのが今回の調査研究の目的です。前述した「どこからどうアプローチしてよいか」が不明確な調査研究テーマといえます。そこで、エフェクチュエーション理論が提唱する５つの原則（手中の鳥、許容可能な損失、Crazy Quilt, レモネード、飛行中のパイロット）、をよりどころとして現地調査、メンバー間での議論をすすめました。結果を「その土地が全国的に有名かどうか」を縦軸、「民泊のスタイルが非日常かどうか」を横軸として民泊のプロトタイプを４分類してみました。調査研究のまとめとして、ターゲットとして選定した奈良県の南部「奈良県御所市」における民泊が、今後どのプロトタイプなら活性化するかを「プロトタイプツアー」により実体験してみました。その結果、御所市が地元の人でも意識していない隠れた魅力を持った地域であり、民泊ビジネスが大いに期待できることを発見しました。この調査研究は参加した企業内診断士にとって非日常の重要性を意識する貴重な経験となりました。

トピックス

第 33 回診友会開催報告

診友会幹事　　原田　高峰

～今回で１７年目に入った「診友会コンペ」～

奈良県中小企業診断士会の年２回春・秋の恒例行事であります春の「診友会ゴルフコンペ」は今回で３３回目となり１７年目にはいりました。今回は４月２３日（火）に広々としたフェアウエーの大和高原カントリークラブでの開催となり、２組７名で楽しい戦いを繰り広げました。今回もまた新たに木下先生が初参加していただき嬉しいことに年々参加者が増えてきています。広々としたフェアウエーに豪快に打ち下ろせるホールが多くあり気持ちよくプレーできるのがこのコースの特徴です。ですから思わぬ良いスコアーが出る場合もあり、楽しいゴルフのできるということではナンバーワンのゴルフ場です。今回も全員健闘されて参加者平均スコアは今回もグロス９８（グロス１１５の方もいます）でネット７７．５という平均年齢 X 歳の割にはすごく優秀な成績でした。栄えある優勝は鈴木幸兵先生がグロス１１０でネット７５．２と素晴らしい成績で獲得されました、２位には初参加のため優勝から２位になった木下先生がネット６６．４で入賞されました。このコースの良さは自然豊かさと平日であれば価格もリーズナブルことです。今回はプレー費７１００円会費２０００円と秋のゴルフシーズンとしてはコストパフォーマンスの良い価格でした。その上２人乗りカートを採用していますので４名１組の場合２カートでお天気が良ければコース乗り入れも出来ます、また２バッグ・３バッグの割増料金もなく、緊急の場合のキャンセル料も平日の場合、前日までにすれば無料になることで幹事としてはありがたいコースとなっています。また、回を追うごとに参加者も増加してありがたく思っています。企業内診断士の方も有休を活用して是非ご参加ください。次回秋のコンペは令和元年１０月２４日（木）を予定しています。８月月初頃に正式案内いたしますので是非多くの方のご参加をお待ちしています。初参加の方はWペリア方式でハンディを算出します。

各研究会活動状況

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
企業内診断士研究会 【代表者：深谷会員】	14 名	今年度は図書情報館で６日開催	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。2013 年度より、奈良県立図書情報館において「体験セミナー＆無料経営相談会」を開催。	深谷 fukaya@kcn.ne.jp
ＩＴＣツールによるＷｅｂＥＤＩ活用研究会 【代表者：渡辺武久理事】	募集中	９月に参加者募集、１０月に発足、２か月毎に開催予定	2020 年代前半、日本の受発注システムに革命が起こる。その起爆剤として注目を集めるのが、EDI（電子データ交換）の新仕様「中小企業共通 EDI」だ。2018 年 3 月にＩＴＣ協会が中小企業の視点で策定し、2019 年 6 月に軽減税率に対応した最新版が公表された。本研究会はこのツールを研究し導入のガイドラインを提案することを目的とする。前号でアナウンスした Web 活用研究会、ITC ツール活用研究会を統合したものである。メンバーは ITC を中心とし、ITC 協会届出組織 ITC 実践研究会とも共同研究する。	渡辺 fwkz5706@nifty.com
次世代経営者育成研究会 【代表者：原田理事】	５名	月１回	セミナー・研修の開催と、コラム「経営と暮らしの羅針盤」の執筆	竹下富彦 to-takesita@nifty.com

マーケティング研究会 【代表者：中島篤会員】	7名	月1回	「診断士のマーケティング」を目的とし、診断士の案件開拓に向けた試みを実践しています。現在のテーマは、診断士のコンテンツ開発です。	中島　篤 nakajima@lewes-group.com
奈良活性化研究会 【代表者：保延理事】	約80名	2カ月に1回	今年度は、4月には上野会員から「奈良の魅力あるゲストハウス・民泊とは」、6月には奈良税務署様から「改訂消費税における軽減税率について」及び横田会員「銀行が見る融資のポイント」を開催しました。今後も、働き方改革、信用保証協会の制度、奈良にまつわる知識の向上等広い分野のセミナーを開催予定です。	保延　薦 honobe@tkcnf.or.jp

新入会員自己紹介コーナー

◆ 2019 年 1 月以降、新たに入会された方からお寄せいただいた
自己紹介のコーナーです。
2019 年 4 月 1 日時点での会員数は 105 名となっています。

ふりがな		いなり　まこと
名前		稲荷　誠
連絡先	Tel	0742-55-9901
	Fax	0742-55-9901
	E-mail	inari-contact@kcn.jp
勤務先		いなりコンサルティングオフィス
登録年度		2012 年度
抱負・自己 PR など		民間調査機関及び建設コンサルタントに約１０年間勤務し、その後独立開業しました。診断士のほか技術士の資格を取得しており、経営と技術の両面から支援を行っております。よろしくお願い申し上げます。
特技		麻雀
趣味		旅行・読書

ふりがな		こみね じゅん
名前		小峰 潤
連絡先	Tel	080-6928-4211
	E-mail	komine1974@outlook.jp
登録年度		2018 年
重複の場合は協会名		京都府中小企業診断協会
抱負・自己 PR など		約 20 年間に亘る海外ビジネス経験を基に、①海外販路開拓、②インバウンド対応、③外国人材活用を 3 本柱として活動しております。出身地でもある奈良県の中小企業のお役に立てればと考えておりますのでご指導のほど何卒宜しくお願い申しあげます。

ふりがな		みずこし　よしのり
名前		水越　義則
連絡先	Tel	０９０－８６２０－２１３９
	E-mail	ysmiz9984@gmail.com
勤務先		農林中央金庫
登録年度		２０１７年度
重複の場合は協会名		東京都協会中央支部から転入
抱負・自己 PR など		昨年、勤務先の転勤に伴い奈良県診断士会に転入させていただきました。奈良県内の中小企業、特に農林業者の役に立てればと思います。よろしくお願いします。

ふりがな		かみむら　たくや
名前		上村　拓也
連絡先	Tel	090-7357-0885
	E-mail	azul1899@gmail.com
登録年度		平成 30 年
重複の場合は協会名		大阪府中小企業診断協会
抱負・自己 PR など		奈良の産業設備メーカーの調達部署で勤務しております。社外では奈良活性化プロジェクトの任意団体の活動に参加しており、今後は当協会にも参加させて頂き、奈良の地域社会や中小企業により関わっていきたいと考えております。
特技		コーチング（学習中）
趣味		一眼レフカメラ、ジム通い

ふりがな		やまうち　たつや
名前		山内　竜也
連絡先	Tel	090-7815-5272
	E-mail	tffcyamauchigmail.com
勤務先		奈良県中小企業団体中央会
登録年度		2011 年 9 月
重複の場合は協会名		東京都中小企業診断士協会　城北支部から転入
抱負・自己 PR など		得意分野は、①補助金申請支援、②家族経営者の事業計画策定支援・販路開拓支援、③経営革新計画策定支援である。補助金支援分野においては、補助金申請支援実績が多数あり、また、補助金事務局に約４年勤務経験があり補助金申請支援に精通している。

ふりがな		きむら　ただたか
名前		木村　忠孝
連絡先	Tel	090-5154-1862
	E-mail	kimtada@iris.eonet.ne.jp
勤務先		宮川化成工業(株)
登録年度		平成２９年
重複の場合は協会名		大阪府中小企業診断協会
		私は樹脂成形の会社で製品の開発、設計に携わって参りましたが、広い視野の為にと取得した診断士の魅力にはまり独立を考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願いいたします。
特技		CAD 設計
趣味		楽器演奏（フルート）

奈良県診断士会行事開催予定

- ◆ 平成 30 年度理論政策更新研修　　9 月 14 日（土）
- ◆ 診友会コンペ　　10 月 24 日（木）
- ◆ 診断士の日　　11 月 04 日（月）

編集後記

▽ 会報「診断なら」2019年夏号をお届けします。

▽ 毎日猛暑日が続いております。先日もお墓参りに行ったおり、あまりの暑さにくらっときました。この後、お寺さんの盂蘭盆会法要もあり、暑さ対策をしっかりしてお参りしたいと思っております。

▽ まだまだ猛暑が続くとのことです。熱中症で救急搬送される方も多くなっております。皆様にはご自愛ください。

▽ 「診断なら」では、会員の皆さまの寄稿も積極的に紹介していきたいと考えています。エッセイや時事論考など、随時お寄せいただければ幸甚です。　【米田】

〒630 - 8217
奈良市橋本町 3－1
きらっ都・奈良 3 階 302 号
Tel ：0742-20-6688
Fax：0742-20-6788
e-mail： jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
http://www.nara-shindanshi.jp/